

1. 本園の教育目標

知情体を兼ね備えた、バランスのとれた、たくましい心身の発達を助長することをめざす。

- ☆丈夫な体とやりぬく気力を
- ☆みんな仲良く思いやりのある心を
- ☆発見の楽しさ創造の喜びを
- ☆集団生活の中から社会参加の気持ちを
- ☆いつも感謝の気持ちを忘れずに幼児にふさわしい習慣づけを

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

☆積極的に研修に参加し、教職員の資質向上を図るとともに、教育内容の深化充実を図る。

研究テーマ『主体的に運動に取り組む子どもを育てるための教師の指導のあり方とは』

☆社会状況や幼児の実態、地域性等を考慮し、必要に応じて保育内容や実施の仕方について見直しを行う

- ・学校園評価アンケートを実施し、教育内容の見直しを行う。

3. 評価項目及び取り組み状況

教育内容の向上	指導計画に基づく保育を子どもの実態との整合性を常に検証し教育内容の質の向上を図る。
地域の幼児教育センターとしての役割	園庭開放や幼稚園での行事に参加できる取り組みを積極的に行うと共に、子育て相談などの支援をしていく。
保護者とのかかわり・情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動を通して保護者のニーズ把握だけでなく、保護者が子育てについて学ぶ機会を設ける ・子どもたちの姿を通して、幼稚園の教育方針や内容が伝わるように、毎日ブログを更新し、情報の発信に努める。
保育者の研修充実	教育の質の向上をめざし、科学的検証をしていく。保育技術だけでなく幼児の発達についても専門家を招聘して、深く学ぶ機会を設け、一人一人の子どもに応じた支援ができるよう資質の向上に励む。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・火災・地震（津波）・防犯訓練を通し咄嗟の場合の判断力を培うと共に、安全避難行動がとれるよう実践を重ねる。 ・防災・防犯体制を構築する。 ・感染症拡大防止マニュアルを随時見直し全職員で共有する。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

実施した学校評価アンケートも含め幼稚園教育や生活を子どもの実態を通して見直しを図り、行事の精選や時期の変更を行った。教師も自己評価表に基づき反省を重ね、保育に活かすべく努力をしている。

5. 今後取り組むべき課題

教育内容の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、定期的に地域の方や学識経験者を招き評価委員会を開催し、地域に開かれた幼稚園づくりをめざす。また、日々の保育や行事について検討する機会を設けて評価し、個々の子どもの実態を把握し成長発達につなげていく。 ・防災意識の向上を図る為、親子の引き渡し訓練を行い保護者との連携を深める（2年度は天候とコロナ感染症拡大防止の観点から実施できなかった）
「認定こども園」実施に向けた計画の樹立	新制度移行園に向け、教職員の共通理解を深めスムーズに移行できるように努める。
特別支援教育の推進	専門家の助言をもとに、保護者との話し合いを重ね、子どもへのふさわしい支援の在り方を共有する。
情報発信の深化充実	本園での取り組みへの理解が深められるよう日々の活動をホームページや、ポートフォリオにて教育内容の発信を続けている。

6. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。